

迎春



箱根町長 山口昇士



新年あけましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は、町行政に対し、温かいご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。世界的な金融危機に端を発した景気の後退は、長引く雇用情勢の停滞など私たちの生活に多大な影響を及ぼしております。そのような中、昨年8月の衆議院議員総選挙において民主党が大勝しました。今、鳩山政権のもとで大きな政策転換が図られるなど、まさに時代は歴史の変革の真つ最中にあります。

今後は、地方行政におきましても変化を余儀なくされるが大いに予想されることとありますが、私は国内外の社会・経済情勢がどのように変遷しようとも、箱根に確かな展望と未来が持てるまちづくりを推進していくことが重要であると考えています。

さて、今年私が町長となつてから10年目の節目となりました。就任当初から最重要課題と位置付けております子育て支援を始めとした少子化対策につきましても、未来を担う子どもたちの健やかな成長を支え、安心ある暮らしを実現させるため、引き続き積極的に進めてまいります。

また、「環境先進観光地」の基礎作りとしまして、昨年4月から推進本部を立ち上げ、施策に着手しているところですが、地球規模での環境問題が叫ばれる現在、観光と環境はもはや切り離すことのできない関係にあります。このような現状を踏まえ、箱根の恵まれた自然環境や景観を大切に、次世代へと引き継いでいく意識の向上を図ってまいりたいと考えております。

さらには、世界に誇れる国際観光地として、競争力を強化させ、魅力ある滞在型観光圏づくりに努めてまいりたいと思います。

このように、時代の要請に応じた新しい施策にチャレンジしながら、「人・心・自然、やさしさと出会いを創造する町「箱根」」を目指してまいります。そして、箱根が町民の皆さまにとって住みよい魅力ある町となり、同時に多くの人々から愛される観光地となるように、皆さまのお力添えをいただきながら、今後も一層の努力を重ねてまいります。

最後になりましたが、新しい年が皆さまにとって幸多い年となりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年、明けましておめでとうございます。箱根町議会を代表いたしまして、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

町民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆さま方には、日ごろから町議会の活動に對しまして、温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

世界的な金融危機に端を発した景気後退により、我が国の実体経済、国民生活は深刻な影響を受け、国税・地方税が大幅に減収するなど、地方財政はこれまでにない厳しい状況となっております。

さらに、少子高齢社会の到来、医療保険・年金の制度改革、地球温暖化対策など環境保全への対応や、著しい情報化の進展等により、地方行政を取り巻く環境は誠に厳しく、まさに、行政の真価が問われている時といっても過言ではありません。

我が箱根町は、世界に誇れる、世界に愛される観光地として発展し続けなければなりません。

そのためには、お年寄りにも若人にも十分魅力のある、活力に溢れた地域社会を実現することが何よりも肝要であると思えます。

議会といたしましても、箱根町が抱える課題の解決に向け、議員一丸となり、いかにすれば、豊かで魅力ある「箱根町」が創造できるか真摯に考え、最大限の努力をしてまいります。

今後、地方分権改革の進展に伴い、地方公共団体の自己決定と自己責任の範囲が拡大する中で、意思決定機関である地方議会が担う役割は一層重要となつてまいります。地方分権時代の議会のあり方として、議会の制度面における権能や活動を拡充強化し、地域の実情に応じた議会運営が十分発揮できるよう議会改革なども行い、町民の皆さまのご期待に沿うよう努めてまいります。

どうか本年も、町議会により一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、平成22年が、皆さまにとりまして幸せな年でありますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



箱根町議会議長 折橋尚道

